

業績ハイライト (2023年9月期)

●財務ハイライト

経常利益 (連結)

499億円

前年同期比
7億円 減

親会社株主に帰属する 中間純利益

347億円

前年同期比
4億円 減

総自己資本比率 (連結)

11.58%

前期末比
0.05% 減

ROE (連結) 株主資本ベース

7.13%

前期末比
0.75% 増

貸出金残高 (単体)

12兆5,206億円

前期末比
3,670億円 増

預金残高 (単体)

15兆4,242億円

前期末比
2億円 減

●非財務ハイライト

ちばぎんSDGs私募債引受額

累計 971億円

上記商品による寄贈・寄付金額

累計 162百万円

※2022年4月に従来の寄付型私募債を「ちばぎんSDGs私募債」に改定し、寄贈・寄付のメニューを拡充しました。

女性活躍推進 (2023年7月現在)

管理監督者
女性比率 18.8%

リーダー職[※]以上
女性比率 28.4%

※リーダー職とは、支店長代理など部下をもつ職務にある職員およびそれと同等の地位にある職員であり、担当業務の責任者として組織マネジメントの職責を担う者です。

2023年6月23日、当行およびちばぎん証券は、仕組債の勧誘販売に係る業務に関して、関東財務局より業務改善命令を受けました。お客さまをはじめ、関係する皆さまに多大なるご迷惑とご心配をおかけしましたことを、改めて心よりお詫び申し上げます。改善・再発防止に向けた取組みを着実に実行し、お客さまをはじめ関係者の方々からの信頼回復に努めてまいります。関連URL : <https://www.chibabank.co.jp/news/topic/bip/>

株式情報 (2023年9月30日現在)

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 毎年6月
- 基準日 定時株主総会の議決権：毎年3月31日
期末配当：毎年3月31日
中間配当：毎年9月30日
- 公告方法 電子公告
(当行ホームページ <https://www.chibabank.co.jp/>)
ただし、電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
- 株式事務取扱場所 株主名簿管理人・事務取扱場所
〒103-8202
東京都中央区日本橋茅場町一丁目2番4号
日本証券代行株式会社 本店
お問い合わせ先 ☎0120-707-843

株主優待制度

対象株主 毎年3月末現在、1,000株以上を1年以上継続保有の株主さま[※]
制度内容 以下のコースより、いずれかをお選びいただけます。

※「1,000株以上を1年以上継続保有」の確認につきましては、毎年3月末および9月末の当行株主名簿に、同一株主番号で1,000株を下回ることなく連続して3回以上記録されることといたします。

特産品

- ①千葉県特産品コース
千葉県の特産品等を掲載したカタログからお好みの商品をお選びいただけます。
- ②C-VALUE特別企画特産品コース
ちばぎん商店が取り扱う千葉発の新たな特産品等を掲載した別冊カタログからお好みの商品をお選びいただけます。
- ③TSUBASAアライアンス共同企画特産品コース
第四北越銀行、中国銀行、伊予銀行、東邦銀行、滋賀銀行、群馬銀行の地元特産品等を掲載した別冊カタログからお好みの商品をお選びいただけます。

寄付

- ④寄付コース
SDGs達成に資する取組みを行う団体や基金の中から寄付先をお選びいただけます。

優待基準

1,000株以上10,000株未満保有	①③特産品 (3,000円相当) ④寄付額 (3,000円)
10,000株以上保有	①②③特産品 (6,000円相当) ④寄付額 (6,000円)

株式会社 千葉銀行

〒260-8720 千葉県千葉市中央区千葉港1-2
TEL. 043-245-1111(代表)
<https://www.chibabank.co.jp/>
2023年12月発行



一人ひとりの思いを、
もっと実現できる地域社会にする

2023

ミニ・ディスクロージャー誌

2024年3月期 営業の中間ご報告

プロフィール (2023年9月30日現在)

社名 株式会社千葉銀行
設立 1943(昭和18)年3月
本社所在地 千葉市中央区千葉港1-2
従業員数 4,061人
発行済株式数 815,521千株
総資産 20兆2,617億円
預金 15兆4,242億円
貸出金 12兆5,206億円
資本金 1,450億円
総自己資本比率 連結11.58%
単体10.99%

※諸計数は原則として単位未満を切り捨てのうえ表示しています。

パーパス・ビジョンと中期経営計画における主な取組み



パーパス

一人ひとりの思いをもっと実現できる地域社会にする

ビジョン

地域に寄り添う エンゲージメントバンクグループ

当行グループは、「**地域の社会的課題解決に貢献するなど、社会的価値を提供すること**」こそが、企業グループとしての存在意義であると考えています。あらゆるステークホルダーと思いを共にし、地域社会の一人ひとり・一社一社に寄り添った存在であり続け、金融サービスを中心とした機能的価値に加え、地域の社会的課題解決への貢献などの**社会的価値の提供**を行ってまいります。そして、当行グループは**パーパス・ビジョンをすべての行動・判断の軸とした企業活動**を行ってまいります。

三つの誓い

お客さまへの提案や、業務上の判断を行う場合、**必ず立ち止まってこの提案や判断は「お客さまの思いの実現」「お客さまの課題の解決」「お客さまの豊かなライフスタイルの実現」**につながるのかを考えます。

第15次 中期経営計画 エンゲージメントバンクグループ ～フェーズ1～

2023.4.1 ▶ 2026.3.31

パーパス・ビジョンの実現に向け、本中期経営計画では「**お客さま中心のビジネスモデルの進化**」を取組指針に掲げ、3つの「**基本方針**」のもとお客さまサービスの向上を図るとともに、それを支える5つの「**価値創出の基盤**」を強化していきます。

基本方針

I	最高の顧客体験の創造
II	既存事業の質の向上
III	新たな価値の提供

価値創出の基盤

I	DX	II	GX	III	アライアンス
IV	人的資本	V	グループ・ガバナンス		

主な取組み

基本方針I × 価値創出の基盤I

○「WEB口座開設サービス」の取扱開始

2023年9月、お客さまとつながるデジタルインフラとして、時間や場所を問わずスマートフォンで簡単に口座開設ができる「WEB口座開設サービス」の取扱いを開始しました。お申し込みは印鑑レス・ペーパーレスを実現し、最短即日で口座を開設できます。口座開設後は、すぐにちばぎんアプリのご利用も可能です。



申込トップページ

基本方針III × 価値創出の基盤II

○CO₂排出量測定ツール「C-checker」の取扱開始

2023年9月、CO₂排出量測定ツール「C-checker」の取扱いを開始しました。本ツールは、電気やガソリンなどの使用量を入力するだけで、会社全体や事業所ごとのCO₂排出量が自動で可視化され、排出量の推移や排出源の分析が容易にできます。なお、ちばぎんビジネスポータルをご契約のお客さまが無料でご利用いただけます。

基本方針IV × 価値創出の基盤III

○「TSUBASA-AMLセンター株式会社」の設立

2023年11月、TSUBASAアライアンスで連携する第四北越銀行、中国銀行、および株式会社野村総合研究所と、マネー・ローンダリングおよびテロ資金供与防止対策の共同運営を行う合併会社「TSUBASA-AMLセンター株式会社」を設立しました。新会社は、TSUBASAアライアンス参加行の豊富な実務知識・経験と、野村総合研究所の先進的な金融ITソリューションを融合し、犯罪やテロに関わる取引を的確に検知・排除することで、お客さまに安心して銀行をご利用いただける健全な地域金融・経済の発展に貢献していきます。

目標とする財務指標（2026年3月期）

連結ROE (株主資本ベース)	親会社株主に 帰属する 当期純利益	連結業務純益	連結普通株式等 Tier1比率*	連結OHR
7%前半	750億円	1,200億円	10.5~11.5%	45%程度

*パーゼルIII最終化完全実施ベース（有価証券評価差額金除き）

TOPICS

「水戸支店」「浜松町支店」の新設

2023年11月に「水戸支店」、12月に「浜松町支店」を新設します。新店舗は、当行初の窓口レスかつ現金をお取扱いしない事業性融資に特化した店舗とします。事業性融資のご相談のほか、事前予約制で、当行と業務提携を結ぶソニー銀行が活用するテレプレゼンスシステム「窓」を使用し、リモート端末にて個人のお客さまの普通預金口座開設と住所・電話番号・ご名義・ご印鑑の変更を承ります。

なお、水戸支店は、TSUBASAアライアンスで連携する東邦銀行水戸支店と同じビル内に入居します。また浜松町支店は、同一フロア内に千葉・武蔵野アライアンスで連携する武蔵野銀行浜松町オフィスが入居し、引き続きアライアンスを生かした価値ある提案を行ってまいります。



水戸支店オープンセレモニーの様子

資産づくりの新サービス

「おかねのバスケット」の取扱開始

2023年6月、お客さまの長期にわたる「資産づくり」をサポートするため、「おかねのバスケット」の取扱いを開始しました。本サービスでは、資産の現状確認やお客さまのご意向に沿った最適な組み合わせのご提案、購入後の運用の見守りなど、お客さま一人ひとりのニーズに合わせた最適な資産づくりのプランを提供します。なお、投資信託の提案から申込手続きまでは、シームレスかつペーパーレスを実現しました。

